

プレス発表資料

平成29年1月5日

山形大学
山形県
(公財) 山形県産業技術振興機構
米沢市
山形県立米沢栄養大学

山形大学・山形県・山形県産業技術振興機構・米沢市・米沢栄養大学で共同提案した「有機材料システムの事業化加速と山形米沢モデルによる地域活性化」事業が文部科学省の地域科学技術実証拠点整備事業に採択されました。

山形県産業振興ビジョン及び米沢市サイエンスパーク構想の実現に向け、企業等からアクセスの良い(平成29年度高速道路開通等)米沢オフィスアルカディアに、「有機材料システム事業化開発センター」を整備し、地域創生を加速します。

山形大学の工学系分野で事業化できる段階にある先端技術シーズをもつ教員や、市内・県内企業の開発を支援できる教員が、工学部キャンパスから出向き、市内・県内企業の開発を支援し、関連機関等と共に事業化を進めます。(「山形米沢モデル」)

建物は、搬出入しやすい1階建て、施設内にレンタル開発スペースや共用利用設備等を整備し、医療健康・機械金属・電気電子・食品分野などのすべての分野で、広い地域ニーズに応える、産官学一体の展開を強力に推進します。

1. 計画概要

建物：有機材料システム事業化開発センター（新設）（仮称）

場所：米沢オフィスアルカディア D-10区画（米沢市が土地所有）
（山形大学有機エレクトロニクスイノベーションセンター北側隣接場所）

事業：施設・設備 約8億円 1階建 約1200平方メートル予定
平成30年3月までに完成・開所・稼働開始

事業主体：山形大学

提案者：山形大学・山形県・山形県産業技術振興機構・米沢市・米沢栄養大学

2. 地域科学技術実証拠点整備事業（文部科学省HPから引用）

地域の大学・公的研究機関等で生まれた研究成果を事業化につなげ、地域が成長しつつ一億総活躍を実現していくために、企業と大学・公的研究機関等が連携し、研究等の成果を実証するための施設・設備を整備するものです。大学・公的研究機関等を拠点として研究室、複数企業及び地方自治体が一つの施設等に結集し、産学官連携体制を強化し、民間資金を呼びこみつつ、地域で生まれた研究開発成果の地域による事業化の実現により、地域の雇用創出と経済活性化を目指します。

総額：150億円（平成28年度第二次補正予算）

提案件数：63件

採択件数 22地域

http://www.mext.go.jp/a_menu/kagaku/chiiki/seibi/1380937.htm

補足資料 別紙参照

お問い合わせ先

山形大学 理事特別補佐・工学部長特別補佐
米沢市 工業振興特別参与

高橋辰宏

電話：0238-26-3585 携帯090-7339-4650

電子メール effort@yz.yamagata-u.ac.jp

有機材料システムの事業化加速と山形米沢モデルによる地域活性化

山形大学
地方創生の
エンジン



有機材料システム
研究推進本部
有機材料システム
事業化開発センター



事業
プロデュース部門



共同提案

地域
活性化

山形米沢モデル



山形県産業振興ビジョン
戦略 世界最先端技術を生かした付加価値額拡大
米沢市サイエンスパーク構想

特色

- ① 広い分野、大学に事業プロデューサー配置
- ② 大学がキャンパス外に出る・企業が来やすい
- ③ 搬出入しやすい・開発実証に最適な施設

月例会議

山形大学
山形県産業技術振興機構
米沢市・米沢栄養大学
山形県工業技術センター
金融機関
等

事業
プロデューサー
事業
プロデュースチーム

構想
案

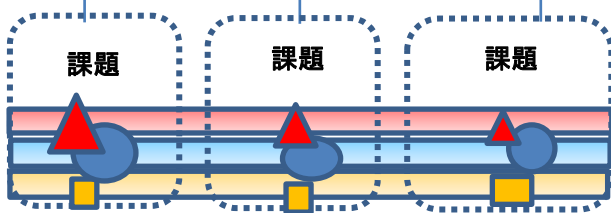
県内
各種研究会と
連携予定

課題

課題

課題

研究者
県内企業
県外企業



施設内容案

運営・維持・管理体制: 山形大学と米沢市役所で共同運営

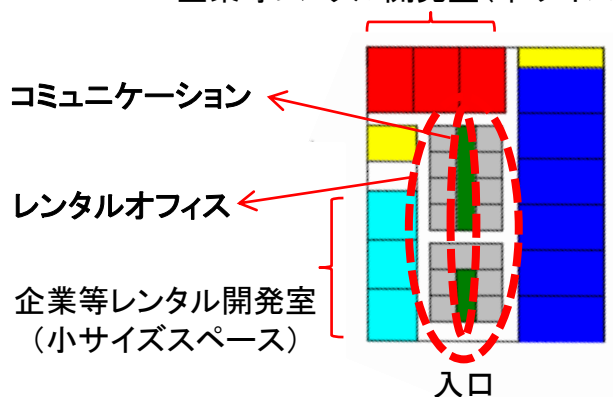
施設案



米沢市が土地所有
山形大学に貸与
米沢オフィスアルカディア区画 D-10



企業等レンタル開発室(中サイズスペース)



企業等レンタル開発室
(大サイズスペース)

予定レイアウト案
約1200平方メートル予定

太陽電池
システム設置
省エネシステム

1階建て
外部から
搬出入容易

公徳会
佐藤病院

健康医療
実証連携

米沢商工会議所
地域産業
支援センター

中小企業等
支援連携

設備案

- 医療健康分野
(健康印刷センサー・医療健康等IoT化システム等)
- 機械金属ものづくり分野
(3Dプリンタ(金属・樹脂) 金属防食ナノコート等)
- 食品・農業6次産業化分野
(常温特殊乾燥、特殊粉碎α化等)

入居・利用案

- 産業連携の主目的施設の方針
⇒ 独立採算制
- レンタル開発室
⇒ 利用しやすさを追求、設備の充実
- 利用者負担
⇒ 最低限のコストを負担(検討中)

現時点
入居・利用希望
31企業
(内 市内企業11社)

有機材料システム事業化開発センターの位置づけ（従来との相違）

山形大学米沢キャンパス

米沢オフィス・アルカディア

参画企業・機関

従来・今後も継続

有機エレクトロニクス・蓄電デバイス分野

有機
エレクトロニクス
イノベーション
戦略

有機エレクトロニクス
蓄電デバイスで
応用開発できる教員が
キャンパスを出て
アルカディアに

応用開発
(有機エレクトロニクス
イノベーションセンター・
蓄電デバイス
開発研究センター)
実証
(スマート未来ハウス)

県外企業が主で
プラス
県内企業

県外企業内部で
製品化・事業化

主に
山形県・
機構・
市

本提案構想

工学系のすべての分野

山形米沢
モデル

山形県
産業振興
ビジョン

米沢市
サイエンス
パーク
構想

ホップ

事業化段階の
先端技術シーズを持つ
教員がキャンパスを出て
アルカディアに

市内・県内企業の
開発支援ができる
教員がアルカディアに

ステップ

共同開発・実証等

ジャンプ
アルカディア等
市内・県内で拡大展開

ホップ

市内・県内企業
が主に利用
または入居
(開発スペース)
プラス
県外企業等

山形県・
機構・
市・
栄養大

3

具体的 事業化・共同開発等の分野 案

参画教員代表例

(1) 医療健康分野

健康向け印刷センサーシステム

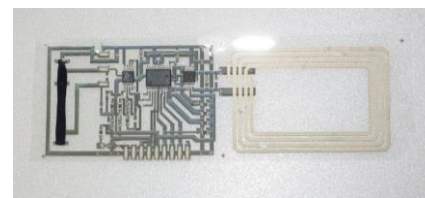
病院医療IoT化システム

事業化段階にある先端技術例イメージ
(参画予定山形大学発ベンチャー企業)



(フューチャーインク)

(ディライトマター)
(薄膜ナノコートSTART事業)



(フューチャーインク)



時任静士



横山道央



古川英光



伊藤浩志



廣瀬文彦



城戸淳二



鹿野一郎



西岡昭博

(2) 金属機械・ものづくり分野

3Dプリンタ(金属・樹脂)システム

金属防食薄膜ナノコートシステム

物流等ハイブリッドRFIDシステム

印刷デバイスシステム

(3) 食品・農業6次産業化分野

常温特殊乾燥システム(野菜・果物等)

特殊粉碎α化システム(穀物等)



(ベジア)